

# 長和町地域公共交通活性化協議会設立総会 会議録

日 時：令和8年1月21日（水）午後1時25分～

場 所：長和町役場 第5会議室

敬称略

出席者：24名

ジェイアールバス関東株式会社小諸支店 小林厚支店長  
和田バス有限会社 相馬堅太郎専務  
公益社団法人長野県バス協会 吉澤實敏専務理事  
長野県タクシー協会 一之瀬治上小支部長  
長和町議会 原田恵召議長  
長和町議会 佐藤恵一総務経済常任委員会委員長  
古町自治会 尾美敏雄会長  
長久保自治会 古畑勇会長  
大門自治会 羽毛田健次会長  
和田小学校 PTA 加藤理恵会長  
依田窪南部中学校 PTA 勝野星太会長  
長和町シニアクラブ連合会 安藤一登会長  
国土交通省北陸信越運輸局長野運輸支局 山岸康範首席運輸企画専門官  
長野県上田地域振興局企画振興課 鎌田宜之課長  
長野県上田建設事務所整備課 中嶋亮主任技術専門員  
林野庁中部森林管理局東信森林管理署大門森林事務所 内藤貴幸首席森林官  
長野県警察上田警察署交通課規制免許係 井出貴士係長  
長和町 羽田健一郎町長、清水英利副町長、中原良雄産業建設課長、  
遠藤剛総務係長、宮阪勝将総務係  
株式会社地域総合計画 宮澤一成課長  
谷口成志技師

## 1 開 会

副会長：清水副町長

## 2 あいさつ

会長：羽田町長

### 3 自己紹介

添付名簿により紹介

### 4 会議事項 進行：羽田会長

#### (1) 地域公共交通活性化協議会について

事務局より、別紙資料に基づき説明

質疑なし

#### (2) 地域公共交通計画の素案について

事務局より、別紙資料に基づき説明

質疑

委員：3点質問させていただく。1点目は、再三、町の議員から町の生徒や児童の土日の部活動の地域移行などについて意見があったと思うが、そういったクラブ活動についての配慮は考えてないように感じるが、その辺はいかがか。2点目は、個人的に感じる部分になるが、他の地域では協議会を設立した後、電気自動車の活用といった災害に強いまちづくりというものを検討したりしているところもある。電気自動車の普及については状況が不透明な部分もあるが、やはり電気自動車の利活用によって災害時を含めた総合的な危機管理の視点が抜けているのではないか。あと3点目だが、今回は社会福祉協議会の方々が参加されてはいないが、社会福祉協議会ではなっちゃん便という自主的なボランティア輸送を実施しているが、制度上の課題として、需要としては上田市方面にも行かないといけませんが、それにはどうしても効率的に無理な状況にあると聞いており、それをどうやってカバーするんだということになると、タクシー券という形もあると思うが、そうした支援と今後はどのように融合していくのかという視点が無いと思われるので、その辺は社会協議会と話していただきたい。

事務局：1点目のクラブ活動の関係ですが、これから上田地域の学校が色々とクラブ活動に移行していくというところであり、休日の移動の充実についてのご意見だったと思いますが、ながわごんについては現在も休日では全体5台のうち3台は動かしていますので、予約していただければ利用できる状況にある。その他、新たにそのポイントが必要であれば、ご要望をいただければ、この協議会の場で検討していくことは可能というふうに考えております。2点目の災害に強いまちづくりということに関して、EVの自動車の購入につきましては、今回協議会を設立しまして、この公共交通計画ができた段階で、今後の町の公共交通のあり方について、皆さんと協議しながら、そうした内容も含めて議論していければというふうに考えております。それから、3点目の社協のなっちゃん便につきましては、過去の会議でも話が出ておりますが、上田

方面へ行く公共交通としては、今後は県で公共交通の充実を検討しているとお話を聞いております。今回ご参加の JR バス関東様のバスをはじめ、上田方面のバスやタクシーの皆様と連携をしながら公共交通の運行を活発化していくというところを伺っておりますので、そうした県の検討内容も踏まえながらこの会議で情報共有ならびに議論してまいりたいというふうに考えています。

委員：計画の素案であるため、あくまでも今後の考え方という意味合いで、一文など加筆いただければと思う。

委員：2 ページ以降の地図において大門支所が抜けているため、修正をお願いしたい。また、今後の策定スケジュールとしては2 月にパブリックコメントが予定されているが、その前には議会での説明も予定されているのか。

事務局：ご指摘ありがとうございます。大門支所の関係は2 ページ以降において一部抜けておりますので、追記させていただきます。それから、議会の方の説明につきましては、パブリックコメントについて皆様に周知させていただいて、ご確認いただくというような形をとらせていただければと思います。

委員：数値目標に関して、運行経費に関しては、確かに燃料費の高騰も課題ではあったが、国の方針も変わりつつあり、ガソリンの暫定税率も下がってきているため、燃料費の高騰をあまり強調するよりは、むしろ人件費にあたる、待遇改善といった手当を上げるといったところが今後の課題と感じている。したがって、燃料のことばかりではなくて、そうした待遇改善に関する記載も含めて見直していただければと思う。

事務局：ご指摘ありがとうございます。ただ今のご意見のとおり、記載内容を改めさせていただきます。

会長：県下では宿泊税の導入が予定されている中で、その交付金としては地域公共交通に対してどのくらいの割合で使えるのかどうか。直接、町としては入ってこないものではあるが、もし方向性などが分かっていたらお聞きしたい。

委員：長野県では宿泊税を導入することになっているが、その使い道についてはおそらく地域住民の皆さんが一番関心のあるところと考える。宿泊税は主には観光のために使っていくということになると思うが、その具体的な使途については、これから検討を進めていくことになる。ただし、交通についても宿泊税を活用して、特に観光路線などの充実を図っていくということになると思われるが、この点は地域住民の皆さんからもご意見いただきながら、どういった形でこの宿泊税を還元できるかというところは検討していきたい。

会長：このほか、ご意見などはないか。

委員：最後に1 点教えていただきたい。49 ページのところでは、令和6 年5 月に交通事業者へのヒアリングした中で、JR バス関東様から和田峠北線の4 条運行のあり方について、事業継続に関する懸念として挙げられている一方で、54

ページのところではサービスレベルとして和田峠北線の運行本数が記載されているが、こちらについてはこの本数を維持していくという形で、交通事業者を含めて合意が取れているという認識で良いか。

事務局：49 ページの事業継続に関する問題点ということで、和田峠北線の4条運行のあり方というのは、この令和6年5月14日の時点でJRバス関東様とお話をさせていただいたところで、今後の懸念点としてお聞きした内容になります。54 ページのサービスレベルにつきましては、今現在運行していただいている4条運行の本数となっており、町として、ならびにこの計画としては、現状を最低限に維持していただきたいという考えのもと記載させていただいておりまして、今の段階ではJRバス関東様ともこの本数についてはお話しさせていただいたうえで、計画に記載しております。

質疑応答終了

### （3）その他

副会長：皆様から本日頂戴いたしましたご意見等につきましては、先ほどお話ししたとおり、この後修正等させていただきまして、2月に2回目の協議会といたしまして、書面開催にはなりますけれども、修正した計画素案を委員の皆様を送付させていただきます。その際には概要等をご確認いただきまして、さらに何かございましたら、同時期にパブリックコメントもありますが、直接事務局の方へのご連絡でも結構ですので、忌憚なくご意見を寄せていただければと思っております。本日の設立総会で立ち上がりました法定協議会が今後母体となりまして、今後は長和町の公共交通について色々なことを決めていかなければならないと考えております。できる限り住民の皆さまのご意向に沿うような形で様々なことを計画し、実施していきたいと考えておりますので、引き続きご支援、ご理解、それからご協力を賜ればと思います。

## 5 閉 会

副会長

（終了 午後2時20分）